

慶應義塾図書館は福沢諭吉逝きあとの寂寞とした学園に活を入れるという意味もあって、当時としては必要以上に華麗な建築を作った。そんな立派なものにしないで木造として、別に工科をも作ったら良いという人もあって、議論された。しかしこの建物が強行されて出来上って見ると誠に立派で、丘の上に聳え、東京の城南地区の何処から見えた、あれが慶應だ。慶應義塾の図書館だと指呼された。この建物は永く塾の象徴として塾員のひとしく誇るところであった。そしてこの建物の中に高級な図書を収めようと、館長初め教職員はその収書に努力した。塾出身者及び出身者ならずとも塾を愛する人々から、図書の寄贈が相次いだ。資金を提供して図書購入の基金とした人もいた。そしてこれが伝統のある大学の図書館としての地位を築き上げて行った。

慶應義塾の図書館は今日において容積は必ずしも大きいとは言えない。東京大学などと比較すると、まづ中ころの大きさの図書館といえよう。蔵書数においてもそうである。図書館内の設備の点に至っては、戦後おびただしく出来た国、公、私立大学の図書館に劣るところが多いであろう。しかしこの中にある蔵書の質は劣らないばかりか、格段に光るものを持っていることは自他共に許すところである。

アダム・スミスを初めとする正統古典経済学書を系統的に集めていることは、経済学史の研究者にとって塾図書館の訪問は欠かすことが出来ない。又、それと対照的なマルクス主義経済書も小泉監督時代に大童わで集めた。既述のように或る時代までのマルクス主義・共産主義の著述は、網羅的に塾の図書館に収まっている。星文庫が含む和洋の政治・経済書は現在充分に使いこなせる人が数える位しかない程の、充実さを持っている。福沢諭吉に関する資料、その門下の人々の出版物を中心とする明治初期の図書・文献も、他の大学図書館のいづれよりも水準が高いと思

われる。高橋監督の推薦で購入された大量の草双紙・黄表紙類は量ばかりでなく、版の良い美本揃いである。戦後に収蔵し得た近世初期の日本文学書、お伽草子や浮世艸子などと共に、文学史の上の原本をこの図書館で見ることが出来る。その他、田中文庫、幸田文庫、小山内文庫、望月文庫、それぞれ特徴を持ち、当該専門家達には垂涎の図書群である。

こうした良き、実のある図書群を包容した図書館であればこそ、大学の研究図書館として一流の地位に立ち得るものである。塾の中の人は使いなれた図書館であるから、あたり前として軽く見過ごしがちである。塾外の人に却って評価される。本塾図書館は外来者にもずーっと公開されて来た。多くの人々が此処を利用している。既述した大塚金之助博士のように戦争中の思想統制から自身の大学を追われた人ばかりではない、各方面の学者が紹介状の必要などというわずらわしさを持たないで、ここを利用している。又、最近では学園紛争で図書館が封鎖された大学の学生が卒業論文のために塾図書館を利用した。そしてその学生の論文を見た教授が、論文に引用されている書名を指さして、これは何処で読んだかと聞いたそうである。そしてその指導教授は「慶應図書館はいいね」と、改めて自校の図書館と比較して感慨を述べたそうである。又、しばしばこの図書館を利用する外来者に聞いて見ると、「活字化された本の原本を簡単に拝見出来て、刊本と対比出来るのは有難い」と語っていた。オリジナル・マテリアルの収集は野村館長の特に力を入れたところである。

第二次大戦後アメリカ人が多数日本に来た。アメリカの資金援助によって慶應に文学部図書館学科が出来た。アメリカ流の考え方からいうと「大学では研究室でも図書館でも利用者、つまり研究者や学習者にできるだけサービスし

て、その促進を計るというのが眼目なんで、それ以外にはないと思うんです」これも勿論異論のないところである。サービスに徹する図書館であれば大変宜ろしい。図書のオープン・アクセス、レファレンス・サービス、複写、指定図書制度、館外貸出の充実から、さらには総合目録、相互貸借、文献調査にまで手を拡げる。こうした方向に力が移された。いや移されつつあるという過程かも知れない。

こうした変化はやはり背景を考えなければならず、それが育つにはそれに適した土壌が必要である。戦前の館長は皆欧羅巴に学んだ。小泉・高橋・野村の代表的な館長は皆英国に留学し、ブリチン・ミュージäumやゴールドスミス・カンパニイ経済文献図書館やケムブリッジ大学図書館で学んだ。彼らの手本は昔学んだこれらの図書館であった。図書館ばかりでなく大学も欧羅巴の影響をうけた。同様なことは早い頃のアメリカでもそうであったろう。五十年前のアメリカは欧羅巴諸国に比して、明らかに後進国であった。アメリカが先進国の地位にのし上ったのは、第二次大戦の前後からであった。米国は二度の大戦によって巨大な資力を持つ大国になり、それに伴ってあらゆる面で驚くべき進歩を遂げた。学問分野でも益々細分化されると共に、高度の精密さが求められる。高価な実験機械、多額の研究費、多くの優れた頭脳による共同研究、そして大図書館の建設とその活用、これらは資力に優り、人的資源の豊かな国にしてなし得ることであった。アメリカの図書館と大学は急速に変貌を遂げた。そして多くの米国図書館人が日本に来て、日本の図書館の後進性を批判した。日本の図書館は翦然としてそれになびいたのである。慶應の図書館もそれに例外ではない。聞くところによると欧羅巴の図書館もアメリカ・ナイズされる傾向にあるという、して見れば世界的風潮の中の動きといえる。

しかしこうしたサービス本位が米国のように根を下した、びくともしないものになるかどうかには不安があった。大学制度そのものが戦後新制大学によって変革されたとはいえ、内容までも、教授方法までもが変わったとはいえない。学問の研究方法も亦、そうである。早い話が指定書制度にしてからが、制度が出来ても、相変らずの昔ながらの教授法では生きたものにならない。こうした暗中模索の、疑心暗鬼の時が数年つづいた。しかし、ここ数年来、そうは言っていない事柄が起つて来た。それは出版物の世界的増加である。印刷技術の発達によって図書資料が急速に増えた。ひとり紙を用いる図書ばかりでなく、フィルムに、音盤に、テープに、所謂視聴覚資料に類するものも、巷に氾濫する。それらの利用にはこれまでぼんやり放任されたやり方では間に合わない。整理するにも、それを情報として流すのにも特殊技能を必要とする。コンピュータの採用なども切実な問題として取り上げられる。そこに単なる図書館と研究室との合同によって、事務の合理化を企てようとする以上に、利用サービスの質的向上を目ざそうとする情報センターのような組織を生み出す必然性があったといえる。

図書・資料の量は今後益々拡大されて行くであろう。その膨大な際限のない資料に、人間は振りまわされる。研究者も学生も図書の洪水の中におぼれる。それを整理し、能率的に利用させる方向に図書館が向うのは、当然の責務だといえよう。

しかし乍ら利用本位といっても、収書の重要性を忘れてはならない。サービスは懇切丁寧にすべきであるが、良き収書なきところに良きサービスはない。図書館間の相互貸借によって収書の不備を補えるように考える人がいるが、相互貸借にのみ頼っていては時間の浪費であるし、又、円滑な貸借にはやはり当方の収書の充実がなければならな

い。貸借が常に一方交通ということでは先方が迷惑する。歴代館長が善本収集に努力した。それも続けなければならない。更らに膨大な図書・資料の洪水に対処して図書館を充実させるのには、良き撰択眼を持った司書の養成と充実に力をそがねばならない。図書館運営の合理化、機械の縦横なる操作が出来ることも勿論必要であるが、図書資料に対する知識の豊富さも亦、必要である。図書資料に対する価値を知らずして図書館サービスが出来るとは思えない。

塾の図書館は既に幾変遷を重ねた。そして今後は情報センターに発展して前進をつづける。図書の収集、その利用、どちらにも力を入れ、有功に効果をあげて、塾の文運を益々光輝あらしめんことを祈って筆を置く。

# 慶應義塾圖書館年表

年

慶應義塾

圖書館

参照事項

安政

五

一〇

福沢蘭学塾を開く  
福沢英学に転ず

万延

一

一 福沢第一回の渡米  
新銭座に移る

五

福沢ウエブスターの辞書を持ち帰る

文久

一

一 福沢渡欧

文久

二

春 入門帳を作る  
鉄砲洲へ帰る

一二

チャンブルの経済書など持ち帰る

元治

一

慶応

一

慶応

二

慶応

三

一 第二回の渡米

六

教科書を多量購入して帰国する  
講堂に図書が備付けられていた

明治

二

四 新銭座に移り、慶應義塾  
と命名す

四 江戸城開城

明治

三

三 三田に移転す

教科書は本箱二つに収められ、需要が多  
いため、常に空箱であった

明治

四

四 「慶應義塾社中之約束」  
を版行した

教科書貸与は有料であった

明治

五

五 カロザスを雇う

島原藩邸の一室「月波楼」を図書室とす  
る。図書掛は渡部久馬八

七 文部省設置

明治

六

六 学科を改定、授業料値上  
を版行した

「社中之規則」に「書籍出納の規則」な  
し、図書貸与無料となる

八 学制発布

明治

七

七 三田に移転す

教科書貸与は有料であった

八 学制発布

明治

八

八 三田に移転す

教科書貸与は有料であった

八 学制発布

明治

九

九 三田に移転す

教科書貸与は有料であった

八 学制発布

年

表

三二三

年表

慶應義塾

図書館

参照事項

明治七年

「社中之規則」に書籍の項、簡略化されて復活する

三一四

八

一八 商法講習所設立  
同志社英学校創立

九

四 東京大学開設

一〇

九 教育令公布

一一

四 門野幾之進、図書の選択購入に当る、文庫の整理は完成

一二

一〇 経営難給料三の一に減ず

一三

一一 「慶應義塾維持法案」発表

一四

一 社頭福沢諭吉  
塾長浜野定四郎

一五

一〇 東京専門学校創立  
(早稲田大学)

一六

一七

一八

九 正科五年、別科四年とす

一九

三 帝国大学令公布

二〇

一〇八 煉瓦講堂竣工す  
塾長小泉信吉

二一

二二

書籍出納の規則改訂されて図書貸出には月十銭の損料を支払う  
煉瓦講堂の中に十二坪の書籍館がある

明治 二三

一 大学部発足  
三 塾長小幡篤次郎

大学部書館を置く、書館係武田勇次郎

二四

三 日本文庫協会創設

二五

二六

二七

二八

二九

三〇

三一

九八 社頭福沢塾務総覧  
学制改革発表

五四 塾長鎌田栄吉  
学制改革により一貫教育  
となる

三二

一〇六 大学部普通部書館合併  
書館を煉瓦講堂に移す  
〃 書館係別府藤馬  
本山彦一図書千冊寄贈  
教科書貸与制の廃止  
書館幹事に菅学応、上野  
類に着手せしも果さず  
書館係横田良吉  
書館を煉瓦講堂の二階に移す、  
書館係川勝貞吉

一一 図書館令公布

三三

九 書館係平山幹次 読書室に新聞雑誌ウエ  
ブスター辞典を常置す

三四

三二 福沢死去  
「慶應義塾維持会設立趣  
意書」

一〇 山口善兵衛寄贈（鱸松塘旧蔵資治通鑑一  
〇〇冊）

三五

三 専門学校令公布

年

表

三一五

年 表

三六

年 慶 應 義 塾

図 書 館

参 照 事 項

明治三七 一 大学部専門学校令で認可

二 二 学報に圖書の寄贈を求める広告を出す  
故日原昌造、故中井芳楠記念図書費募集

八四 伊藤尚孝寄贈漢籍千三百冊  
武藤山治工業に関する図書購入費千円寄附

九 故日原昌造旧蔵書百八十八冊寄贈  
小寺謙吉一万円寄附、それを基金とし利子で書籍を購入

二 四 小寺謙吉一万円寄附、それを基金とし利子で書籍を購入  
故小幡篤次郎図書基金募集

三九

三 帝国図書館開館

二 星亨蔵書一万三千冊の委託保管  
久世直高露書数十冊寄贈  
慶應義塾図書館洋書目録刊行  
一一 德川頼倫一万円寄附  
一二 「慶應義塾創立五十年記念図書館建設趣意書」発表

四〇

一〇 「図書館雑誌」創刊

四 創立五十年記念式典  
一六 財団法人慶應義塾認可  
二 社頭福沢一太郎

五 村田勤、ケンフェル「東亜紀行録」初版寄贈  
一〇 慶應義塾図書館和漢書目録刊行  
五 德川達孝和漢書三千四百余冊委託保管

四一

六 幹事石田新太郎

三 那珂通世遺蔵書四千六百冊の委託保管

三 日本図書館協会と改称  
一一 日比谷図書館開館

四二

六 図書館建築に着工  
九 佐々木哲太郎七千九百冊委託重要図書一万五千円海外に発注す  
一一 図書館安礎式挙行

[illegible]

年表

慶應義塾

図書館

参照事項

大正  
六

七

八

九

四  
大学新発足（文・経・法・医）

- |     |                                                                  |
|-----|------------------------------------------------------------------|
| 一一〇 | 統計に関する書籍展と講演会<br>歐洲戦乱に関する書籍展と講演会<br>庄内史料展（目録あり）<br>田中日本図書館協会会長辞任 |
| 一一一 | 阿部泰蔵より保険関係書籍購入基金寄附                                               |
| 一一二 | 佐々木哲太郎寄託書籍展と講演会                                                  |
| 一五  | 児童研究に関する書籍展と講演会                                                  |
| 一六  | 山岳に関する書籍展                                                        |
| 一七  | 図書館年報（大正五年度）発行                                                   |
| 一一〇 | 伝記及系譜に関する書籍展と講演会                                                 |
| 一一一 | 教育に関する書籍展と講演会                                                    |
| 一一二 | 渡辺金蔵蔵書十ヶ年委託の契約成る                                                 |
| 一一一 | 安部能成日本医書三千百八十四冊寄贈                                                |
| 一一二 | 朝鮮に関する書籍展と講演会                                                    |
| 一五  | 渡辺金蔵収集歌書展と講演会                                                    |
| 一六  | 経済学史及び経済史に関する書籍展と講演会                                             |
| 一〇  | 新聞に関する書籍展（三田新聞学会主催）                                              |
| 一一  | 青木昆陽歿後百五十年記念展と講演会（日本図書館協会主催）                                     |
| 一一〇 | 印刷に関する書籍展と講演会                                                    |
| 一一一 | 仏教に関する書籍展（仏教青年会后援）                                               |
| 一一二 | 短冊及び和歌に関する書籍展（三田短歌会后援）                                           |
| 三   | 文学科研究室へ図書購入費の寄附あり                                                |
| 四   | 小林文七所蔵浮世絵展及講演会                                                   |
| 六   | 社会問題の図書と労働会議の記録展と講演会                                             |
| 六   | 維新名士書翰展                                                          |

一二  
大学令公布

大正 一〇

一一 鎌田栄吉塾長辞任  
一二 塾長福沢一太郎  
一二 塾長林毅陸

一三

一四  
一五 九 新塾監局竣工

年 表

一〇〇 仏文学と語学に関する書籍展と講演会  
福沢諭吉と塾関係図書の寄贈を広くと  
める

一一 第十七・八世紀経済古版本展と講演会

一二 江戸の地図とその参考書展と講演会  
哲学書展と講演会

一〇九 監督田中一貞死去  
占部百太郎監督就任

四二 基督教に関する書籍展と講演会  
新井由三郎図書九千余冊寄贈

六五 図書館年報（大正十年度）発行  
アダムスミス生誕二百年記念スミス関係  
経済書展と講演会

一〇九 震災により図書館被害あり  
故江守善六千五百余冊寄贈

三一 小泉信三監督となる  
震災による図書館建物応急修繕工事費評  
議会に認めらる

一〇 コンラッド・ハインニッヒ所蔵社会問題  
書籍購入可決さる

三 岩永省一記念図書購入基金一万円寄附

六六 矢野国太郎ラテン語古書三九冊寄贈  
カント協会刊のカント研究、同補遺一括  
購入可決

七 書庫増築費八万円を借入金で以てするこ  
と評議会可決

一一九 望月支那研究基金規程制定さる  
宮永万吉・三神敬長記念釀金により海運  
及び南洋文献購入さる

九 関東大震災

三一九

年 表

慶 應 義 塾

図 書 館

昭和 二

一二 図書館修繕費十六万円承認さる

一一 図書館書庫増築工事起工  
委託の佐々木哲太郎蔵書寄贈（佐々木文庫一となる）

八 増築書庫竣工す、同時に図書館本館の修築に着手

三

一〇八 図書館修築工事竣工  
福沢時太郎より故福沢捨次郎蔵書二千余冊寄贈

四

七 朝吹常吉、国文学・茶道・香合せ等の図書千六百四十三冊寄贈  
波多野元武、故波多野承五郎蔵書和洋二千六百六十七冊寄贈

一二 洋書印刷目録刊行

五

二 日吉キャンパス用地購入

一〇九 小山内薫蔵書六千余冊二万円で購入  
木村浩吉故木村喜毅遺稿及び書翰寄贈

六

二 養心会、福沢諭吉及びその門下の著書を収集して寄贈することを決める

三 小田万寿之助洋和四百五十余冊寄贈（翌七年にも四八三冊）

七 沢木みね子故沢木四方吉蔵書六八〇冊（美術関係）寄贈

一一 福沢先生伝記完成記念展覧会と講演会

七

五 七十五年記念式典

一〇五五 西洋経済思想史展と講演会（目録）  
ゲーテ百年祭記念展覧会と講演会（目録）  
アジア協会図書委託解約

七 内務省に特別高等警察課設置

六 東京私立大学図書館協議会設立

昭和 八 一一 塾長小泉信三

九 一一 日吉開校

一〇

年 表

- |     |                                |
|-----|--------------------------------|
| 三   | 南葵音楽図書館取蔵書を委託保管の契約なる、六月移送す     |
| 三   | 故田中 萃一郎の蔵書寄贈「田中文庫」と称す          |
| 六   | 編纂事業完成記念福沢先生展 於高島屋（目録）         |
| 二六  | 星亨三十三回忌記念展と講演会                 |
| 二六  | 高橋誠一郎監督となる                     |
| 六六  | ナチス文獻展覧会                       |
| 一一  | 故滝本誠一蔵書購入「滝本文庫」                |
| 一一  | 福沢および物故先輩に関する展覧会               |
| 一一  | シルレル誕生百七十五年記念展                 |
| 一一  | マルサス歿後百年記念展                    |
| 一一  | 北里博士記念医学図書館建設趣意書               |
| 一一  | 徳川時代経済史資料展                     |
| 一〇六 | ラインハルド・フランク文庫購入                |
| 一〇  | 日吉予科図書室開設（監督加藤元彦）              |
| 一一  | 門野重九郎より野崎左文旧蔵書七二三冊寄贈           |
| 一一  | 早慶図書館員野球十八対八で勝つ 慶帝戦は九対六で敗る     |
| 一一  | 三井高陽所蔵 欧洲 交通史料展と講演会（慶應経済史学会主催） |
| 一   | 尾崎行雄明治三十年以降衆議院関係文書寄贈、約五百冊      |
| 四二  | 反乱軍との戦火を予想して一日臨時休館             |
| 五五  | 松永安左エ門還暦記念和洋書二千五百七十八冊寄贈        |
| 五五  | 早慶図書館員野球八対二で勝つ                 |
| 五五  | 和漢書分類目録第四卷（政治経済社会問題）刊行         |

六 文部省に思想局設置

二 二・二六事件

年 表  
慶 應 義 塾

| 昭和二                 | 昭和                            | 一三                    | 一四                   | 一五                               | 一六            |
|---------------------|-------------------------------|-----------------------|----------------------|----------------------------------|---------------|
| 五                   | 七                             | 一〇                    | 一〇                   | 一〇                               | 一〇            |
| 明治社会経済思想文献展及び大都市研究展 | 南部淳一郎、故南部修太郎蔵書千二百四十冊寄贈        | 花房孝太郎、故花房義質蔵書千四百十六冊寄贈 | 和漢書分類目録第一卷(哲学・教育)刊行  | 第一校舎完成、次で研究室建設予定の処不急建築として許可を得られず | 北里記念医学図書館竣工   |
| 圖書防火分団を作る           | 圖書防火分団を作る                     | 北里記念医学図書館竣工           | 原始及び古代文化資料展(三田史学会主催) | 一〇九                              | 一〇九           |
| 三三                  | 三三                            | 三三                    | 三三                   | 三三                               | 三三            |
| 故茂木惣兵衛蔵書購入          | 高橋忠雄、故高橋義雄蔵書千八百五十二冊寄贈(茶道・水戸学) | 全国私立大学図書館協議会を開催す      | 第十七世紀刊行経済文献展(目録)     | 支那考古学展(共催三田史学会)                  | 一六五           |
| 一                   | 一                             | 一                     | 一                    | 一                                | 一             |
| 洪井清所蔵浮世絵展           | 和漢書分類目録第二卷(文学)刊行              | 最初の防空演習               | 一〇九                  | 一〇九                              | 一〇九           |
| 早矢仕四郎圖書寄贈(明治書)      | アダム・スミス歿後百五十年記念展と講演会(目録)      | 社会主義関係図書二百冊閲覧禁止命令あり   | 水上滝太郎展(三田文学会主催)      | 安食高吉図書館主任脳溢血発作                   | 月岡芳年五十年忌展(目録) |
| 一                   | 一                             | 一                     | 一                    | 一                                | 一             |
| 米英に宣戦布告             | 文部省に教学局設置                     | 日華事変起る                | 国民徴用令公布              | 第二次大戦勃発                          | 日独伊三国同盟調印     |
| 九                   | 九                             | 九                     | 九                    | 九                                | 九             |
| 一                   | 一                             | 一                     | 一                    | 一                                | 一             |
| 三ヶ月短縮繰上卒業式          |                               |                       |                      |                                  |               |

|       |   |         |   |   |                         |   |   |              |   |   |                       |   |   |                      |   |   |                  |   |   |                  |   |   |         |   |   |         |    |    |             |   |   |                       |   |   |            |   |   |                            |   |   |            |   |   |                        |   |   |             |   |   |                |   |   |                |   |   |                             |   |   |                         |   |   |              |    |    |           |   |   |   |   |       |    |    |
|-------|---|---------|---|---|-------------------------|---|---|--------------|---|---|-----------------------|---|---|----------------------|---|---|------------------|---|---|------------------|---|---|---------|---|---|---------|----|----|-------------|---|---|-----------------------|---|---|------------|---|---|----------------------------|---|---|------------|---|---|------------------------|---|---|-------------|---|---|----------------|---|---|----------------|---|---|-----------------------------|---|---|-------------------------|---|---|--------------|----|----|-----------|---|---|---|---|-------|----|----|
| 昭和 一七 | 六 | 短縮繰上卒業式 | 八 | 八 | 泉すず子、故泉鏡花遺品、遺書、原稿類一切を寄贈 | 四 | 四 | 貴重書を地階書庫に移動す | 四 | 四 | 阿部優蔵、故水上瀧太郎蔵書千三百五十冊寄贈 | 八 | 八 | 馬場昂太郎、故馬場孤蝶蔵書五千三百冊寄贈 | 八 | 八 | 和漢書分類目録第五卷(科学)刊行 | 九 | 九 | 藤原工業大学図書室に戸定文庫購入 | 二 | 二 | 東亜文化資料展 | 一 | 一 | 福沢先生資料展 | 一〇 | 一〇 | 図書館の防空対策六ヶ条 | 二 | 二 | フランク・ホーレイ蔵書(敵産)を収蔵と決す | 二 | 二 | ラジエーター取はずす | 一 | 一 | 藤山愛一郎、藤山工業図書館を寄附(監督佐藤信彦就任) | 三 | 三 | 給仕の雇傭今月迄とす | 一 | 一 | 北里記念医学図書館寄附さる(監督鷺巣尚就任) | 三 | 三 | 六十歳以上退職勧告さる | 四 | 四 | 野村兼太郎、図書館主事となる | 一 | 一 | 柄沢日出雄、図書館主事となる | 一 | 一 | 第一回図書疎開(新潟県中魚沼郡十日町西脇寛三郎方倉庫) | 一 | 一 | 第二回図書疎開(甲府市和田平町寺田重雄方倉庫) | 四 | 四 | 南葵音楽図書委託保管解約 | 二〇 | 二〇 | 小泉塾長災禍にあう | 年 | 表 | 三 | 三 | 東京大空襲 | 三二 | 三二 |
| 昭和一七  | 六 | 短縮繰上卒業式 | 八 | 八 | 泉すず子、故泉鏡花遺品、遺書、原稿類一切を寄贈 | 四 | 四 | 貴重書を地階書庫に移動す | 四 | 四 | 阿部優蔵、故水上瀧太郎蔵書千三百五十冊寄贈 | 八 | 八 | 馬場昂太郎、故馬場孤蝶蔵書五千三百冊寄贈 | 八 | 八 | 和漢書分類目録第五卷(科学)刊行 | 九 | 九 | 藤原工業大学図書室に戸定文庫購入 | 二 | 二 | 東亜文化資料展 | 一 | 一 | 福沢先生資料展 | 一〇 | 一〇 | 図書館の防空対策六ヶ条 | 二 | 二 | フランク・ホーレイ蔵書(敵産)を収蔵と決す | 二 | 二 | ラジエーター取はずす | 一 | 一 | 藤山愛一郎、藤山工業図書館を寄附(監督佐藤信彦就任) | 三 | 三 | 給仕の雇傭今月迄とす | 一 | 一 | 北里記念医学図書館寄附さる(監督鷺巣尚就任) | 三 | 三 | 六十歳以上退職勧告さる | 四 | 四 | 野村兼太郎、図書館主事となる | 一 | 一 | 柄沢日出雄、図書館主事となる | 一 | 一 | 第一回図書疎開(新潟県中魚沼郡十日町西脇寛三郎方倉庫) | 一 | 一 | 第二回図書疎開(甲府市和田平町寺田重雄方倉庫) | 四 | 四 | 南葵音楽図書委託保管解約 | 二〇 | 二〇 | 小泉塾長災禍にあう | 年 | 表 | 三 | 三 | 東京大空襲 | 三二 | 三二 |

年表

年

慶應義塾

九 米軍日吉接收

昭和  
二二

三 アジア研究所廃止  
四 塾長代理高橋誠一郎

二二

一 塾長潮田江次  
一 創立九十周年記念式典  
一 通信教育部設置

二三

八 通信教育部スクーリング  
実施

二四

一 新制大学発足  
〇 日吉米軍より還る

図 書 館

五 図書館に焼夷筒落下火災、書庫を残して  
全焼す、第一校舎に図書館事務室を置く

六 南葵音楽図書無事返却す  
六 幼稚園疎開先へ図書疎開を依頼す（青森  
県西津軽郡木造町木造中学校内）

七 第三回図書疎開（長野県更級郡稲荷山町  
高村象平方倉庫）

一〇 米国軍人の図書閲覧貸与便宜供与に關する  
文部省の通達あり

二 重要なる文書・図書の保護に關する調査  
（文部省より）

二 図書館書庫屋根改修なる

二 マッカーサー命令でフランク・ホールー  
文庫返還の通達

二 外来者の入館料五銭から三円に値上げ  
図書館改修工事五百万円評議會で可決

一 大島雅太郎、香果遺珍千三点寄贈  
伊東弥之助図書館主事、安食高武藤山工  
業図書館主事

一〇 新潟疎開の図書還る  
一 石川博道図書館主事  
五 図書館大改修落成式典（総工費千四百万  
円に達す）

六 前館長を招待して開館祝宴  
七 慶應義塾図書館規程（制定）（中央図書  
館制度）

三二四

参 照 事 項

一〇八

終戦  
GHQより日本教育  
制度に対する管理政  
策指令

一〇四

第一次米国教育使節  
団報告書発表  
男女共学実施指示

二

国立国会図書館法公

昭和二五

七 ダウンズ塾長と会見

四 図書館法公布

二六

四 文学部図書館学科開校

九 平和条約調印

二七

年 表

- 八八七 入館料外来者三円から五円に改む  
小島順三郎図書寄贈  
キテイ台風にて屋根のトタン飛び漏水甚し
- 一〇九 故福沢一太郎遺蔵書寄贈  
ゲーテ展  
図書館屋根修理九十五万円評議会可決
- 一 日吉図書館の復旧工事初る。伊東弥之助  
日吉分室主事兼任  
第一回図書館商議会（館長選挙）  
第一回図書館研究会野村兼太郎講演「イギリスの図書館」  
研究室図書館での登録開始  
第二回図書館研究会若井大慧講演「北京訪書余談」  
大原信一極東軍事裁判記録寄贈  
柄沢日出雄米国図書館視察に出発（ガリオア資金並に米陸軍及国務省）
- 一七 一 一七
- 二二 図書館学科の図書室を図書館の中に作る  
曲名瀨文書を十三万円で購入  
第二回商議会（稀題書規準を作る）  
閉館を七時から九時に延長す  
第一研究室竣工（第二研究室は八月竣工）  
工学部図書室、機械工学科教室と同棟の建物出来る
- 二二 一五
- 四一 第三回商議会（館長選挙）  
第四回商議会  
工学部図書室開館  
司書に手当つく。柄沢日出雄副館長、坂本幸児渉外課長、大谷愛人貸出課長となる  
レファレンス・ルーム開室（井出翕担当）
- 四一 九四
- 九 九

年 表

慶應義塾

三二六  
参 照 事 項

昭和 二八

一〇 図 書 館  
中国関係稀覯書展（語学研究所共催）於  
第一研究室

三一 圖書館大時計修理成る  
大鳥蘭三郎、故大鳥圭介宛書翰二百通寄  
贈

四四 第五回商議會  
入館料改訂五円から十円

四五 研究室への図書長期貸出初まる  
フランク・ホールー文庫未返還なきを報  
告

一九 幸田成友蔵書一部購入の整理終る  
故小林昌眞蔵書千八百冊寄贈

一一 小島一雄収集犬養木堂遺墨寄贈  
大正七年卒業三十五周年記念寄附金で日  
本古版本六十三点購入

二九

四三 第六回商議會（館長選舉）  
日本古刊本展（目錄）

八六 慶應義塾大学図書館月報創刊、医学図書  
館へ保管  
故小泉丹蔵書千七百八冊購入、

一 野村館長ローマの人口会議へ出席  
福沢百助旧蔵「上論条例」を大正三年会  
寄贈

三〇

六三 第七回商議會  
故幸田成友蔵書全冊納入  
横山重蔵お伽草子類購入  
三田の古書肆清水三太郎古稀の祝に館  
員、教職員多く参加

昭和  
三一

七六

塾長奥井復太郎  
ギトラ一名誉博士号を送  
らる

三一

四 一

慶應義塾創立百年記念建  
設資金募集趣意書発表  
大学に商学部増設

三一

一一

創立百年記念式典举行

年  
表

五三 八 一〇 二

第八回商議會（館長選挙）  
私立大学図書館協会第十七回大会を慶應  
で行う、日本古書目展（目録）  
六 キリシタン本「サンデ」を天理大学図書  
館に寄贈  
七 上野図書館養成所と野球試合七A対六で  
敗る  
八 書庫増設の話あり  
九 野村館長布哇へ出立  
一〇 反町十郎寄贈武家文書展（目録）  
提出 日吉図書館新築に対する要望書を理事に

二 四 五 七 一一 一二

野村館長帰国  
第二条家文書を購入し收藏す  
野村館長日吉図書館を自由桜架とするよ  
う要望  
白金の慶應義塾藤山工業図書館を明治生  
命保険相互会社に譲渡  
七 命相良文書を三百万円で購入、收藏完了  
一二 麻生太賀吉斯道文庫七万冊寄贈決定

一 二 三 四 四 四 五 六

安食高武図書館日吉分室主任司書  
図書館の階段に絨氈を敷く  
第十回商議會（館長選挙）  
高村象平館長就任  
工学部図書館を図書館小金井分室とする  
第十一回商議會（図書館と研究室の調整）  
研究室の図書を図書館に登録することを  
止める。目録カード一枚を図書館に送る  
日本中世文学資料展（目録）  
斯道文庫受贈式 斯道文庫善本展（目録）  
日吉図書館落成式 藤山記念日吉図書館

三二七

年 表

慶應義塾

図書館

参 照 事 項

昭和三四

六五 正門を南側とす  
慶應義塾労働組合結成

三五

一六 塾長高村象平  
二 斯道文庫独立す（文庫長  
松本芳夫）

|                                    |             |                                                      |                                    |                                          |                                                          |                                                          |                                                           |                             |                                   |                                  |    |   |   |   |
|------------------------------------|-------------|------------------------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|----|---|---|---|
| 一                                  | 三           | 四                                                    | 五                                  | 七                                        | 八                                                        | 九                                                        | 〇                                                         | 一                           | 二                                 | 三                                | 四  | 五 | 六 | 六 |
| 松永安左エ門寄贈亀井南冥、昭陽著作展<br>（目録）（斯道文庫保管） | 新図書館建設委員会発足 | 私立大学図書館協会常任理事校となる<br>米国立大学図書館協会来塾、新図書館建設<br>の援助要請を拒む | 木村初江、故木村莊八蔵書千余冊寄贈<br>洋書のみの夏期館外貸出始る | 図書館増築計画の復活（一回）伊東弥之助<br>寺本九兵衛、矢野竜溪遺書百八部寄贈 | 三十四回商議會<br>三田研究室主事山口清重就任<br>真空殺虫殺菌装置据付け<br>第十五回商議會（館長選挙） | 図書館部課長制成る、伊東、石川部長<br>安食高武藤山記念日吉図書館主任司書<br>関覧室前に小展示第一回初まる | 図書館部課長会第一回開かる<br>阿部隆一私立大学図書館協会賞授けらる<br>組合ストライキ、図書館は非組合員で開 | 平岡好道三千五百六十六冊寄贈（斯道文<br>庫に保管） | 第十二回商議會<br>図書館蔵和漢書善本目録完成刊行<br>となる | 安食高武小金井分室主任司書<br>図書館蔵和漢書善本目録完成刊行 | 二一 | 二 | 一 | 八 |

八 国際キリスト大学図  
書館完成

昭和 三六

七

図書館学科創立十周年記念式典

- 一七 第十六回商議会（館長選挙）
- 一〇 前原光雄館長就任
- 一〇 明治前期民事法関係立法史料展（法学研究会と共催）（目録）
- 一〇 故野村兼太郎蔵書八千五百十六冊寄贈

- 二二 一 カード目録を騰写とする
- 二二 一 増築書庫九千九百五十万円理事会可決
- 二二 一 新図書館計画委員会発足（委員長高村象平）

- 四三 第十七回商議会
- 四三 地階出入口を廃し正面玄関一本とする

- 四四 指定図書推薦依頼状発送
- 四五 第六回国際東方学会会議参加者歓迎展（斯道文庫共催）（目録）

- 六五 図書館研究会
- 六五 中村初雄「再分類の問題」
- 六五 津久井安夫「中央大学図書館の再分類」

- 一七 一 故永田清蔵蔵書三千二百四十一冊寄贈
- 一七 一 図書館研究会 笠野滋「再分類」

- 一一 一 柄沢日出雄教育実践上の功績により義塾賞授与さる
- 一一 一 図書館新書庫増築竣工式挙行

- 二一 三 田地区教員学生の図書館利用に関するアンケート調査実施

三七

- 二一 第十八回商議会
- 二一 一 ルーモブリントの複写開始
- 三二 一 第十九回商議会（館長選挙） 柄沢日出雄副館長辞任
- 三 一 図書館学科レファレンス・ルーム図書館内から西校舎へ移転
- 四 一 伊東弥之助副館長就任

年表

一 立教大学図書館新館完成

年表

年 慶應義塾

図 書 館

参 照 事 項

三三〇

昭和三八

一 一 東京大学図書館近代  
化記念式典

三九 一二 三田地区研究センター審  
査室案成る

- 四 増築に伴う模様替、開架室、雑誌セン  
ター新設、レファレンス・ルーム拡大、N  
D C分類採用、平日の館外貸出始まる
- 一〇五 北里記念医学図書館改装披露式  
斯道文庫、図書館の新書庫地下一階に移  
転
- 一〇 稀覯書庫を新設し太田臨一郎専任担  
当
- 一一一 分館(日吉・医)の部課長制実施  
日吉・四谷・小金井の図書館利用者アン  
ケート調査実施
- 一 北里医学図書館、津田良成部長心得、海  
老原正雄課長となる
- 五三 第二十回商議会  
就職のための資料室を図書館地階に仮に  
置く
- 六 新図書館計画のための調査、利用者の地  
区間比較報告刊行
- 八七 新書庫三階完成  
第一回図書管理、図書整理研究集会(於  
新宿東京会館)
- 九 新図書館計画委員会米国大学図書館調査  
団気賀健三、前原光雄、伊東弥之助、笠  
野滋、米国で沢本孝久合流
- 一一〇 調査団帰国  
ゼロックス複写始動
- 二一 中江広一総務課係主任  
昭和三十七年度「利用整理分科会年次報  
告」刊行
- 八三 第二十一回商議會  
第二回図書管理・図書整理研究集会(於

六 日本女子大学図書館  
開館



年表

年

昭和四二

慶應義塾

四 図書館・情報学科修士課程開設  
五 新研究室地鎮祭

図書館

四 近代文学館開館

三三二

参照事項

四三

五 慶應義塾命名百年式典挙行  
六 米軍援助研究費問題による学生抗議初まる  
九 学生塾監局占拠

一

研究教育計画委員会第三分科会答申で情報センター構想を支持す

一九七六五

洋書目録研究会オリエンテーション  
資本論刊行百年記念図書展示会（経済学会共催、目録）

四

佐藤館長塾長代理資格でミシガン州立大学百五十年記念式典へ出席  
図書館職務権限基準大綱提出

四三三

贈さる  
山本洋一、故山本久三郎蔵図書・書翰寄附

一

雑誌「八角塔」創刊  
第二十八回商議會

一

新刊展示棚を玄関に飾る  
新図書館計画委員会解消、研究教育情報センタ利用実体調査実施

四

近代文学館開館

一一一

図書館蔵善本稀本展（目録）

二一〇

日吉図書館重要文化財に河村和男就任

九八

森園繁メリーランド大学図書館に留学

七六

学園紛争により日吉図書館閉鎖さる

六五

柳屋良博洋書課長、田中正之日吉図書館整理課長

五五三

松永安左エ門・高橋誠一郎両君名誉博士第三十九回商議會

五五三

情報センター事務局を改組

一

第一研究室棟完成

昭和  
四四

一八六五

塾長佐藤朔  
日吉校舎バ  
新研究室封鎖  
研究室全館完  
成

四五

年

表

情報センター事務局を準備本部と改称  
第三十二回商議會  
足(幹事藤川正信)  
第三十三回商議會(館長選挙)  
高島正夫館長就任  
笠野滋定期刊行物課長となる  
学生傷害事件発生し機動隊立入検証あり。図書館休館  
日吉図書館副館長交迭村田碩男就任  
ゼロックス係のアルバイト解雇に初まる  
紛争起る  
図書館整理課、総務課が解消し、新研究室棟に改組して移る  
第三十四回商議會  
情報センター設立披露

三三三三

統 計

|        | 圖書<br>雜誌 | 購入費    | 和 漢 書   | 洋 書    | 委 託    | 総 冊 数   |
|--------|----------|--------|---------|--------|--------|---------|
| 明 治 41 |          | 4,669  | 11,831  | 8,039  | 16,293 | 36,163  |
| 42     |          | 3,998  | 13,957  | 9,331  | 16,293 | 39,581  |
| 43     |          | 3,974  | 14,625  | 9,679  | 16,293 | 40,597  |
| 44     |          | 3,990  | 17,911  | 11,053 | 24,187 | 53,151  |
| 明 治 45 |          | 4,498  | 21,058  | 12,690 | 24,187 | 57,935  |
| 大 正 1  |          | 4,994  | 24,193  | 13,600 | 27,141 | 64,934  |
| 大 正 2  |          | 5,000  | 32,133  | 23,180 | 15,003 | 70,316  |
| 3      |          | 4,999  | 35,240  | 24,180 | 15,192 | 74,612  |
| 4      |          | 5,297  | 38,713  | 25,611 | 15,230 | 79,554  |
| 5      |          | 8,260  | 41,235  | 26,107 | 15,282 | 82,624  |
| 6      |          | 7,106  | 44,130  | 28,160 | 17,405 | 89,695  |
| 7      |          | 7,219  | 47,234  | 29,607 | 17,428 | 94,269  |
| 8      |          | 8,498  | 50,045  | 30,926 | 17,437 | 98,408  |
| 9      |          | 9,031  | 52,438  | 32,487 | 17,446 | 102,371 |
| 10     |          | 9,823  | 55,477  | 34,020 | 17,453 | 106,950 |
| 11     |          | 11,643 | 60,241  | 36,316 | 17,453 | 114,010 |
| 12     |          | 21,605 | 69,155  | 37,856 | 17,453 | 124,464 |
| 13     |          | 17,359 | 73,374  | 40,079 | 17,453 | 130,906 |
| 大 正 15 |          | 19,534 | 76,818  | 41,931 | 17,453 | 136,202 |
| 大 昭 1  |          | 20,454 | 88,334  | 43,880 | 9,532  | 141,746 |
| 2      |          | 25,799 | 92,343  | 45,930 | 9,532  | 147,805 |
| 3      |          | 33,579 | 98,602  | 47,690 | 9,532  | 155,824 |
| 4      |          | 48,140 | 107,859 | 49,209 | 7,428  | 164,496 |
| 5      |          | 42,295 | 115,912 | 52,629 | 7,428  | 175,969 |
| 6      |          | 42,722 | 123,843 | 55,991 | 7,428  | 187,262 |
| 7      |          | 50,393 | 130,183 | 59,587 | 7,428  | 197,138 |
| 8      |          |        |         |        |        |         |

統  
計

三  
四

統計

|       | 圖書<br>雜誌 | 購入費        | 和 漢 書   | 洋 書     | 委 託    | 総 冊 数   |
|-------|----------|------------|---------|---------|--------|---------|
| 昭 和 9 |          | 49,444     | 142,244 | 64,966  | 28,474 | 235,684 |
| 10    |          | 48,512     | 153,418 | 70,368  | 28,474 | 252,260 |
| 11    |          | 48,047     | 164,244 | 75,076  | 28,474 | 267,794 |
| 12    |          | 47,185     | 174,363 | 78,933  | 28,474 | 281,770 |
| 13    |          | 47,655     | 181,886 | 82,595  | 28,474 | 292,945 |
| 14    |          | 50,786     | 190,858 | 86,446  | 28,474 | 305,793 |
| 15    |          | 48,449     | 200,676 | 88,978  | 28,474 | 318,128 |
| 16    |          | 39,446     | 206,800 | 91,538  | 28,474 | 326,812 |
| 17    |          | 45,339     | 212,533 | 92,970  | 28,474 | 335,977 |
| 18    |          | 42,825     | 222,937 | 95,898  | 28,474 | 347,309 |
| 19    |          | 34,043     | 228,971 | 96,732  |        | 325,703 |
| 20    |          | 21,547     | 228,992 | 96,746  |        | 325,738 |
| 21    |          | 65,655     |         |         |        |         |
| 22    |          | 339,772    | 242,358 | 96,979  |        | 339,337 |
| 23    |          | 795,233    | 244,613 | 97,564  |        | 342,177 |
| 24    |          | 1,470,730  | 246,917 | 98,715  |        | 345,632 |
| 25    |          | 3,720,182  | 249,781 | 100,658 |        | 350,439 |
| 26    |          | 9,839,309  | 254,062 | 103,184 |        | 357,246 |
| 27    |          | 14,050,441 | 257,173 | 106,109 |        | 363,282 |
| 28    |          | 11,584,274 | 260,569 | 108,268 |        | 368,837 |
| 29    |          | 9,606,297  | 266,424 | 111,120 |        | 377,544 |
| 30    |          | 14,755,662 | 272,288 | 114,274 |        | 386,562 |
| 31    |          | 11,991,343 | 276,369 | 117,544 |        | 393,913 |
| 32    |          | 12,595,377 | 281,494 | 120,465 |        | 401,959 |
| 33    |          | 11,222,644 | 287,067 | 124,097 |        | 411,164 |
| 34    |          | 12,202,313 | 288,986 | 125,210 |        | 414,196 |
| 35    |          | 12,460,937 | 294,048 | 127,646 |        | 421,694 |

|        | 圖書購入費<br>雜誌 | 和 漢 書   | 洋 書     | 委 託 | 総 冊 数   |
|--------|-------------|---------|---------|-----|---------|
| 昭 和 36 | 14,456,636  | 298,361 | 130,481 |     | 428,842 |
| 37     | 16,930,641  | 303,171 | 133,893 |     | 437,064 |
| 38     | 17,318,605  | 307,911 | 136,400 |     | 444,311 |
| 39     | 19,288,284  | 314,623 | 140,105 |     | 454,728 |
| 40     | 22,868,019  | 320,232 | 143,282 |     | 463,514 |
| 41     | 28,505,770  | 326,420 | 147,193 |     | 473,613 |
| 42     | 30,271,404  | 333,092 | 150,836 |     | 483,928 |
| 43     | 32,601,403  | 339,989 | 155,371 |     | 495,360 |
| 44     | 35,415,801  | 347,866 | 161,102 |     | 508,968 |
| 45     | 38,588,807  | 352,047 | 163,366 |     | 515,413 |

統  
計

統計

|     | 大学院<br>大学 | 学生数   | 図 書 館 人 員 ( ) 内女子 |                |        |
|-----|-----------|-------|-------------------|----------------|--------|
|     |           |       | 事 務 員<br>(司書・司書補) | 雇 用 員<br>務 員 託 | 総 計    |
| 明 治 | 41        | 1,794 | 4                 | 4              | 8      |
|     | 42        | 2,099 |                   |                |        |
|     | 43        | 2,328 |                   |                |        |
|     | 44        | 2,417 |                   |                |        |
| 明 治 | 45        | 2,492 |                   |                |        |
| 大 正 | 1         | 2,688 |                   |                |        |
|     | 2         | 3,036 | 11                | 13             | 24     |
|     | 3         | 3,107 |                   |                |        |
|     | 4         | 3,330 |                   |                |        |
|     | 5         | 3,746 |                   |                |        |
|     | 6         | 4,352 |                   |                |        |
|     | 7         | 4,919 |                   |                |        |
|     | 8         | 6,079 |                   |                |        |
|     | 9         | 6,060 |                   |                |        |
|     | 10        | 6,721 | 14                | 11 (1)         | 25 (1) |
|     | 11        | 6,600 |                   |                |        |
|     | 12        | 6,304 |                   |                |        |
|     | 13        | 6,290 |                   |                |        |
| 大 正 | 14        | 6,329 | 15 (1)            | 13 (1)         | 28 (2) |
| 昭 和 | 15        | 6,585 |                   |                |        |
|     | 1         | 7,063 |                   |                |        |
|     | 2         | 7,037 |                   |                |        |
|     | 3         | 7,094 |                   |                |        |
|     | 4         | 6,971 |                   |                |        |
|     | 5         | 6,940 | 18 (1)            | 13 (1)         | 31 (2) |
|     | 6         | 6,904 |                   |                |        |
|     | 7         |       |                   |                |        |
|     | 8         |       |                   |                |        |

|       | 大学院<br>大学 | 学生数    | 図 書 館 人 員 ( ) 内女子 |                |        |
|-------|-----------|--------|-------------------|----------------|--------|
|       |           |        | 事 務 員<br>(司書・司書補) | 雇 用 員<br>務 員 託 | 総 計    |
| 昭 和 9 |           | 6,705  |                   |                |        |
| 10    |           | 6,918  |                   |                |        |
| 11    |           | 6,871  | 16 (2)            | 13 (1)         | 29 (3) |
| 12    |           | 7,383  |                   |                |        |
| 13    |           | 7,554  |                   |                |        |
| 14    |           | 7,922  |                   |                |        |
| 15    |           | 8,086  |                   |                |        |
| 16    |           | 8,451  |                   |                |        |
| 17    |           | 8,429  |                   |                |        |
| 18    |           | 8,166  |                   |                |        |
| 19    |           | 7,496  |                   |                |        |
| 20    |           | 8,461  |                   |                |        |
| 21    |           | 9,617  |                   |                |        |
| 22    |           | 10,361 | 12 (1)            | 4 (1)          | 16 (2) |
| 23    |           | 9,955  |                   |                |        |
| 24    |           | 10,050 |                   |                |        |
| 25    |           | 10,221 | 20 (7)            | 13 (1)         | 33 (8) |
| 26    |           | 9,741  | 22 (7)            | 13 (1)         | 35 (8) |
| 27    |           | 10,402 | 23 (7)            | 13 (1)         | 36 (8) |
| 28    |           | 10,643 | 22 (5)            | 14 (1)         | 35 (6) |
| 29    |           | 11,104 |                   |                |        |
| 30    |           | 11,062 | 22 (4)            | 18 (2)         | 40 (6) |
| 31    |           | 11,307 | 24 (5)            | 15 (1)         | 39 (6) |
| 32    |           | 12,669 |                   |                |        |
| 33    |           | 14,853 | 23 (5)            | 17 (1)         | 40 (6) |
| 34    |           | 17,318 | 25 (6)            | 14 (1)         | 39 (7) |

統  
計

統計

|        | 大学院<br>大学 | 学生数    | 図 書 館 人 員 ( ) 内女子 |              |        |
|--------|-----------|--------|-------------------|--------------|--------|
|        |           |        | 事 務 員<br>(司書・司書補) | 雇 用<br>嘱 託 員 | 総 計    |
| 昭 和 35 |           | 19,798 |                   |              |        |
| 36     |           | 21,265 |                   |              |        |
| 37     |           | 22,438 | 29 (8)            | 17 (1)       | 46 (9) |
| 38     |           | 23,155 |                   |              |        |
| 39     |           | 23,477 |                   |              |        |
| 40     |           | 24,385 |                   |              |        |
| 41     |           | 24,756 |                   |              |        |
| 42     |           | 25,110 |                   |              |        |
| 43     |           | 25,626 |                   |              |        |
| 44     |           | 25,795 |                   |              |        |
| 45     |           | 25,557 | 30(10)            | 13 (1)       | 43(11) |

この統計は三田の本塾図書館に限った。戦後中央図書館制度になっても、分館の数字は含まない。蔵書統計の昭和21年の欠けるのは資料が見当らなかったためである。

大学院・大学学生数は三田に限らず全塾に渡った。大学教員の数を出したかったが、義塾は一貫教育のため兼任が多く、正確を期し難いので省いた。

図書館統計として不充分であることは重々承知であるが、これだけでも何らかの役に立つと思って加えた。

## 付 録

### 慶應義塾大学研究・教育情報セン

#### ター規程

(昭和四十五年一月二十日制定  
昭和四十五年四月一日施行  
規第一八一号)

#### 第一章 総則

第一条 慶應義塾大学に研究・教育情報センター（以下情報センターという）をおく。

第二条 情報センターは、慶應義塾大学における研究・教育活動に必要な図書・資料を収集、整理し、これを効果的に提供すると共に、文献情報その他の情報サービスを行ない、本大学の研究・教育の発展に寄与することを目的とする。

第三条 ① 情報センターに本部および支部をおく。

② 支部センターは、次の各号とする。

- 一 三田情報センター
- 二 日吉情報センター
- 三 医学情報センター
- 四 理工学情報センター

#### 第二章 職員

第四条 ① 情報センターに情報センター所長、支部センター所長、支部センター副所長および事務職員（司書職などを含

む）をおく。

② 司書職などの専門職に関する制度については、別に定める。

#### 第三章 本部組織

第五条 ① 情報センター所長は、塾長が本章第六条に定める情報センター協議会にはかつて任命する。任期は二年とし、重任を妨げない。

② 情報センター所長は、三田情報センター所長、慶應義塾図書館長を兼ねる場合を除き、塾内の他の機関の長を兼ねることができない。

③ 情報センター所長は、情報センターを代表し、その業務を統括する。

④ 情報センター所長は、その職務の執行を円滑に行なうために、必要に応じ支部センター所長および副所長からなる本部運営委員会を招集することができる。

⑤ 情報センター所長は、事故ある場合にそなえて、その職務の代行者を本部運営委員のうちからあらかじめ指名しておくものとする。

第六条 ① 情報センターに情報センター協議会（以下協議会という）をおく。

② 協議会は、次の各号の委員をもって構成し、塾長が委嘱する。

一 情報センター所長

二 各学部長および大学院社会学研究科委員長  
三 各学部から推薦された専任教員各二名および大学院社会学研究科から推薦された専任教員一名

四 支部センター所長および副所長

五 大学の設置する研究機関の長のうち若干名

六 その情報センター所長が必要と認めた者

③ 前項第三号および第六号の協議会委員の任期は二年とし、重任を妨げない。

④ 協議会は、情報センター所長の諮問機関として、この規程で別に定めるもののほか次の事項を審議する。

一 情報センター運営の基本方針

二 情報センターの予算・決算に関する事項

三 その他情報センター運営に必要な事項

⑤ 協議会は、毎年二回定期に情報センター所長が招集し、その議長となる。ただし必要がある時は、臨時に招集することができる。

第七条 ① 情報センターの本部事務室を三田地区に設ける。

② 本部事務室に本部事務室長をおく。

③ 本部事務室は、情報センター所長の命を受け、情報センター業務に関する全般的管理、企画および研究開発並びに調整に関する業務を担当する。

#### 第四章 支部センター

第八条 ① 支部センター所長は、情報センター所長が協議会の議を経て塾長に推薦し、塾長が任命する。任期は二年とし、重任を妨げない。

② 支部センター所長は、情報センター運営の基本的方針に基づいて、当該支部センター業務を統括する。

第九条 支部センター副所長は、支部センター所長を補佐し、支部センター所長事故ある場合は、その職務を代行する。

第十条 ① 各支部センターに支部センター協議会（以下支部協議会という）をおく。

② 支部協議会は、当該支部センター所長の諮問機関として、次の事項を審議する。

一 当該支部センター運営の基本方針

二 当該支部センターの予算・決算に関する事項

三 その他当該支部センター運営に必要な事項

③ 支部協議会は、当該支部センター所長が必要に応じて招集し、その議長となる。

第十一条 各支部センターの内部組織および支部協議会の細目については、別に定める。

#### 第五章 規程の改訂

第十二条 この規程の改訂は、情報センター所長が協議会にはかり、大学評議会の議を経て塾長が行なう。

#### 附則

第一条 この規程の施行後、この規程の定めに従つて情報センター所長および支部センター所長が任命されるまでの間、それぞれの職務の遂行については、暫定的に次の措置をとるものとする。

一 情報センター所長および三田情報センター所長の職務は、この規程の施行直前に研究・教育情報センター準備本部長の職にあつた者がこれを代行する。

二 日吉情報センター所長の職務は、藤山記念日吉図書館副館長および日吉研究室運営委員長がこれを代行する。

三 医学情報センター所長の職務は、北里記念医学図書館副館長がこれを代行する。

四 理工学情報センター所長の職務は、工学図書館副館長がこれを代行する。

第二条 この規程の施行と同時に図書館学研究会規程を廃止する。また、最終の支部センター規程の施行と同時に慶應義塾図書館規程を廃止する。

第三条 この規程は、昭和四十五年四月一日から施行する。

## 三田情報センター規程

(昭和四十五年一月二十日制定  
規第一八二号)

第一条 慶應義塾大学研究・教育情報センター規程(以下情報センター規程という)第三条による三田情報センターの運営に関しては、この規程の定めるところによる。

第二条 ① 三田情報センターは、情報センター規程第二条に掲げる目的を遂行するため、慶應義塾図書館(三田)および慶應義塾大学研究室(三田)の図書・資料を収集、整理し、これを効果的に提供すると共に必要な情報サービスをを行う。

② 三田情報センターは三田地区所在の研究所およびそれに準ずる機関の図書・資料の収集、整理をも行なうことができる。

第三条 ① 三田情報センターにパブリックサービス部とテクニカルサービス部を設ける。

② パブリックサービス部は、情報と図書資料の提供に関する業務を担当するため、部内にレファレンスその他の情報サービス担当と、閲覧課を設ける。

③ テクニカルサービス部は、図書・資料の発注、受入、整理および目録編成などに関する業務を担当するため部内に収書課と整理課を設ける。

第四条 ① 三田情報センターに総務課、複写・印刷センターおよび特殊資料担当を設ける。

② 総務課は、人事、庶務、会計および施設の管理などの業務を担当する。

③ 複写・印刷センターは、複写・印刷業務を担当する。

④ 特殊資料担当は、特殊資料を管理する。

第五条 情報センター規程第十条の定めにより設置する三田情報センター協議会（以下三田協議会という）の委員は、次の各号により三田情報センター所長が委嘱する。

一 文学部・経済学部・法学部・商学部および大学院社会学研究科の図書委員長

二 文学部・経済学部・法学部および商学部から推薦された専任教員 各一名

三 三田地区所在の研究所およびそれに準ずる機関から推薦された者 若干名

四 三田情報センターの副所長および部長

五 研究室運営委員長（三田）および研究室主事（三田）

六 その他三田情報センター所長が必要と認めた者

第六条 ① 三田情報センターに図書選定合同委員会をおく。

② 図書選定合同委員会については、別に定める。  
第七条 この規程の改訂は、情報センター所長の発議に基づき、情報センター協議会の議を経て塾長が行なり。

#### 附 則

第一条 この規程は、昭和四十五年四月一日から施行する。

### 慶應義塾図書館（三田）規則

（昭和四十五年一月二十日制定）  
（昭和四十五年四月一日施行）  
規第一八〇号

第一条（根拠）慶應義塾に慶應義塾図書館（以下図書館という）をおき、図書館（三田）の運営に関しては、この規則の定めるところによる。

第二条（目的）図書館（三田）は、大学の研究・教育の発展と充実を目的として図書・資料を収集し、大学の総合研究図書館および学習図書館の機能を充分に発揮しなければならない。

第三条（職員）前条の目的を達成するため、図書館（三田）に館長一名、副館長一名をおき、必要に応じて事務職員をおくことができる。

第四条 館長および副館長は、三田情報センターの所長および

副所長がそれぞれ兼ねるものとする。

第五条（職務）館長は、図書館（三田）を代表し、図書予算の編成、執行および図書・資料の収集、選定を行なう。ただし施設の管理および総務的業務をはじめ、図書・資料の収集、整理業務および利用サービスなどについては、三田情報センタ―にこれを委管する。

第六条 副館長は館長を補佐し、館長事故あるときは館長の職務を代行する。

第七条（図書選定委員会）第五条の職務のうち、図書資料の収集選定業務を遂行するため、図書館に図書選定委員会を設ける。

第八条 図書選定委員会は、館長の諮問機関とし、館長、副館長のほか、館長の委嘱した学部、大学院研究所属の教員および館長が必要と認めた者をもって構成する。

第九条 館長は、必要に応じて随時図書選定委員会を招集することができる。

第十条 図書選定委員の任期は二年とし、重任を妨げない。

## 後記

「慶應義塾図書館史」の校正を終えて、その出来栄えにはいささか忸怩たるものがある。慶應義塾には昭和四十三年には「慶應義塾百年史」が完成され、四十五年には「稿本慶應義塾幼稚舎史」が刊行された。前者は上・中・下・別と付録を合して全六巻、後者は前・後篇合して四巻に及ぶ膨大なもので、長年月を費やして資料を探索し、周到なる準備の下に執筆されたものである。それに比してこの「図書館史」はあまりにも短日月のうちに、纏められたといわざるを得ない。序文に高島図書館長が述べておられるように、この企画は三田情報センターの組織の中に、図書館と研究室が一体となったのを一つの区切りとして、これまでの図書館の歴史を回顧し、書き残して置こうと思いつかれたことに初まる。そして四十五年五月頃、館員として最古参になった私に執筆を求められた。

私は本文の中でも触れたように昭和十年慶應義塾に就職し、終始一貫して図書館に勤め、数年の分館―当時はいわなかったが―生活の外は、ずーっと三田の図書館で過した。この間、私の見聞した範囲内でも非常な変化を図書館はしている。私がたまたま語る図書館の古い話に、若い人達は珍奇なことを聞くが如き眼付になる。僅かな年月の間に隔世の感を催すほど、世の中自体が変っているように思えた。私が館長のすすめられるままに、図書館史を手をつけて見ようと思ったのは、それがためである。今後もっと急速な変化を、日本の国も、慶應義塾も、その中の図書館も、なして行くであろう。そうした時に過去を振り返って、これまで辿った道程を考え、その中で働いた人々の努力を後世に残すことは、無意味とはいえない。

高島館長の注文はなるべく館長の任期の間に作ること、そして原稿は二百字詰で千枚位という御希望であった。私は今まであまり長い文章を書いたことが無かったので、それがどの程度の詳細さで記述し得るのか、掴めなかったの  
で、執筆に着手することが中々出来なかった。たまたま情報センターの機関誌「KUDUIC」から原稿三十枚で、その一部の連載をもとめられて、この本文の第一章の一の鉄砲洲時代を書いた。それによって大体の目安が立って、この位のものが三十三節書けることを知り、そこで前以て章節を分け、その一節には字数をなるべくあてはまるように記述した。しかしそれでも書き進むうちに予定を越えて、千百二十枚になってしまった。

こうした記述の仕方をしたので、振りかえって見ると記事に精粗が出来たように思える。殊に年月からいって短かい筈の第六章「この十五年」は、却って事件が多くあって、短い節に纏めるのは非常に困難を感じた。また篇中に出て来る大部分の方々が健在なので、その記述の方法や精粗などに、色々御不満を持たれるだろうことは、覚悟の上とはいいいながら、不安もなかなか拭いきれない。

凡例にも述べたように引用文の典拠は、頁数の関係を考えて省いたところが多いので、ここで一括して参考文献の主なるものを挙げて置きたい。慶應義塾には「百年史」を初めとして、これまで校史の編纂が多い。福沢の書いた「慶應義塾紀事」、それに「五十年史」「七十五年史」がある。初期のことを知るには「福沢諭吉全集」や雑誌「三田評論」「三色旗」などに掲載された先輩諸氏の回想記が有益である。新聞「時事新報」さては学生編輯の「三田新聞」、雑誌では「慶應義塾学報」や「三田評論」など、明治から大正を通じて永く資料を提供した。大正年間になると学校で出す「慶應義塾総覧」、図書館で出す「図書館年報」等がある。戦後は、殊にこの十五年は、謄写印刷の簡

便化によって、活字印刷に限らず、おびたしい出版物がある。新図書館計画や情報センター計画の資料は、それこそふんだんといえる程出た。それらに全部目を通すとしたら、到底この年月では書き得ない。以上のような学校の印刷物の外に、個人の著作では各館長のものした著述類がある。特に分量の多いのは故小泉信三氏と齡九十歳に近いがなお、健筆を揮われている高橋誠一郎氏である。「三田評論」に連載のエビメーテウスに多くの回想記を見出す。

戦災で事務室を焼いたことから、戦前の図書館原資料は殆んど失われている。ところどころで使われた一部の資料は、突然の病気で机上の始末も出来なかった安食高吉氏の残物が、書庫の一隅に積まれてあったからである。それと東野利孝氏の御遺族から福田徳三氏らの手紙など見せていただいて参考になった程度である。戦後の資料は多い。しかし担当者によって保存にむらが出来ている。以上の資料の外は、関係者や古老の記憶を書留めた。記憶による談話は同じ時、同じ場所にいた筈の人が、随分ちがった印象を語るのが、不思議でもあり興味もあった。それらの選択には充分注意したつもりである。

ここの図書館ばかりでなく、他の図書館との比較をもっと入れたかったが、平生の不勉強のため、資料が不足してあまり語れなかった。その点心残りである。ほかの大学図書館でも、こうしたものを印刷されて残されるならば、その積み重ねによって、より好い日本の大学図書館史が出来ると思われる。この図書館史も、その一礎石となり得れば幸いである。

最後に、この「図書館史」は高鳥館長の発意とその鞭撻とによってなった。館長の御期待通りのものになり得たかどうか、甚だ心もとない。またこの書を作成するのに古老・先輩の談話による御援助や、同僚諸氏からの励ましも多

かった。いちいちお名前を記して感謝の意を表し得ないのを残念とする。なお、挿入写真は塾史編纂所、三田評論編輯室などの御厄介になった。

昭和四十七年三月

伊東弥之助

昭和四十七年四月一日発行

慶應義塾図書館史

〔非売品〕

編輯兼  
発行人

東京都港区三田二一五―四五

©慶應義塾大学

三田情報センター

製作 東京都千代田区三崎町二一―一二

東京印刷株式会社